

# おかれり、 お父さん

「しごと」「ボランティア」「趣味」「農業体験」  
新しい仲間と生活がきっと見つかる。  
「行くところがある。することがある。会う人がいる」  
最高のセカンドライフをあなたへ。

## 21団体!!

環境、農業、福祉、コミュニティ・ビジネス、  
趣味などの団体を合計 21 団体紹介 !!  
定年後に楽しむ場所がきっと見つかります !!

11/10  
おかげり、  
お父さん

イベント開催 !! 詳細は裏面へ!! >>>



生きがいしごとサポートセンター神戸西   
〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺町 2-2-4  
生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT は兵庫県の補助を受け、  
NPO 法人しゃらくが運営しております。

TEL : 078-731-2251 FAX : 078-735-0164  
URL : <http://www.ikigai.cc>  
E-mail : [next@ikigai.cc](mailto:next@ikigai.cc)

「いきがい.cc」で検索してください!!  
    
<http://www.ikigai.cc>

ボランティア MASAさん



いわゆる団塊の世代として生まれ、高度経済成長期に就職、30代後半からはコンピューターシステム営業の管理職に就いていた MASAさん。企業戦士として日夜を問わず、会社のためにがむしゃらに働き続けたが、あるとき、病気療養をきっかけに地域活動を考え始める。現在は、実家の釣具店を手伝うかたわら、障がい者の小規模作業所で週に2回、ボランティア活動を行っている。

## 思えば仕事づくりの人生でした。

**まずは MASAさんに、地域活動を始める前の生活について伺いたいのですが。**

MASAさん(以下 M)：実は以前、私は仕事の関係で東京に住んでいたことがあります。その頃はまさに仕事中心の生活といった感じで、仕事以外にこれといった趣味もなく、憂さ晴らしに時々パチンコに行くことぐらいでした。当時はお酒も飲めなかつたので、ストレスをうまく解消することが難しかったというのもあるかもしれません。これ、言い訳ですかね(笑)。

今振り返るとその時期は、妻にはきつい言葉で上からモノを言ったりして、ずいぶん苦労をかけたなと思います。今でも「あれは言葉の暴力やった」って責められるんです。ずいぶん昔のことやし、もう勘弁して！って思うんですけどね。

**そんな仕事漬けの生活から、どうして地域活動というか、地域のことに対する目がいくようになったんでしょう？何か見方が変わったきっかけみたいなものはあったんですか？**

M：実は会社で働きだした頃から病気がちになって、心筋梗塞や糖尿病などを患いました。加えて50を過ぎてから、今度は鬱病と診断されて、その療養を理由に1ヶ月くらいの休みを2,3回もらつたんです。それで最初のうちは妻と母と一緒にいる時間が増えて、今度は近所の人たちとも自然と仲良くなつてくる。近所にどんな人が住んでて何してるっていうのもわかってきて、どんな団体がどんな活動をしてるとか、地域にどんな問題があるのかとかも少しづつ情報が入つてきたりする。今考えると、そのとき自分が地域について何も知らなかつたんだということを自覚できたことが一番大きかったような気がします。

休みの間は大好きな魚釣りなんかをよくしましたね。でもそうしてするうちになんかあんまり楽しくないなと思い始めた。で、どうしてかなあと考えて、ようやく気がついたんです。仕事をしてから趣味が楽しい。仕事をしなくなると趣味が楽しくなくなる。毎日遊ぶ時間があると、遊びが楽しくなくなつてくる。そういうことなんちゃうかなど。

で、そういうやあ、定年退職したらこんなふうに時間が余るんやな、俺、どうすんのやろなと考え始めました。

**なるほど、それがきっかけなんですね。**

M：そしてその後はいろいろと考えて、三つのことを始めました。まずは「男の料理教室」に行って料理を覚えました。そして二つ目は健康のことを考えてフィットネスに通い始めました。三つ目はカルチャースクールの押し花教室。まあこれは単なる趣味ですが。

**でも、男の人の中には料理をするのに抵抗がある人も多いかと思うんですが？**

M：抵抗はあまりなかったですね。料理はやってみると本当に楽しいですよ。特に献立を考えたりするのが面白いですね。今は2日に1回は私が作るようにしています。でも、料理を作るようになってから気がついたりすることもあるんですよ。毎日作るのは大変やなとか、頭ごなしに文句言われたらかなわんなどか。



それから妻に対する言葉遣いなんかも変わってきて、夫婦関係はだいぶよくなってると思います。最初のうちは冷蔵庫に賞味期限が切れた食べ物を発見して、「何だこれは！」とか言って喧嘩になったりしましたが(笑)。

**そういう意味では、病気がかえっていいほうに転がったということなんでしょうか？**

M：やはり家庭や夫婦関係の安定なしで、趣味や地域活動なんてできないと思います。別に奥さんとずっと一緒にいるべきだ、というわけではなくて、底辺で繋がっていることが大事だと私は思います。

**それでは現在 MASA さんがやっている、地域でのボランティア活動についてお話を伺いたいと思います。まずお聞きしたいのが、そもそもボランティアをやりたいというきっかけみたいなものは何かあったんですか？**

M：実はあの震災が起きたときにボランティアというか人と人との助け合い、ということに対して私自身考えさせられるできごとがあったんです。

当時、私が神戸にいた母を心配して、東京に来い、と声をかけたのですが、母がいっこうに首を縦にふらないということがあったんです。

## Interview

## 今は生きている喜びを感じます

ボランティア MASA さん

それで、どうしてそんなに頑なに拒むのかと思ってよくよく聞いてみると、近くに住む独居老人達が私の実家にたくさん避難してきているんだと。私が東京に行ったら彼らはどうなるんや?と母が言つたんです。そういうことで私が頭をがつーんとやられたんです。

やっぱり普段見えてないものがああいう時に見えるんですよね。人の助け合ひって大事なんだなって。まあ、そういうことがあって、何か人の役に立つことがしたい、というのは何となく思うようになりましたね。

**では、次に現在の活動を始められるまでの経緯を簡単にお願いします。**

M: まずは、生きがいしごとサポートセンター神戸西のSNSサイト、「いきがい.cc」の新聞記事を読んで、登録したんです。それできしらくしてセンターの方から、興味があるんならやってみないかと声をかけていただいた。で、早速現場に行つて2,3日見させてもらって、あ、こういうことならやってみようと思ったわけなんです。

**活動に参加してみて MASA さんご自身の中でこれが変わったというようなものがありますか?**

M: 正直に言うと、以前は障がい者と呼ばれる人たちに会つても、彼らの状況をよく理解していなかつたので、なんなく同情のような気持ちがあつただけだったと思います。



明るく穏やかな口調で説明する MASA さん



笑いの尽きない散歩道。暑さも気にならない。

「障がい者」=かわいそう、というような安易な捉え方ですね。でも今は個人個人を見られるようになって、例えば電車の中で会つても、この子の状況はどうなんだろうかとか、うちの施設に来たら楽しく過ごす事ができるのにとか考えるようになりましたね。

でもね、逆に現実を知って、難しいなあと思うこともあります。彼らのために自分に何ができるのかなと。社会復帰とかを軽々しく声高に叫ぶ事はできません、今は。何とかしたいという気持ちはあるんですけど。

**さて、最後になりますが、MASA さんの今後については?**

M: 幸い「いきがい.cc」に参加して人脈もできましたし、飲み仲間もできました(笑)。まあそういう人脈も活かしながら、興味の湧いたことにはどんどんチャレンジしていきたいですね。今考えているのは、自治会とかにも参加して自分達の住む街をよくしていきたいということですね。

私が住む須磨の街は昔から風光明媚な街として知られてきました。でも今は特に駅前とか、人を受け入れる環境ができない。また海も汚れていて、昔から住んでいる人たちの中にもいつもゴミを捨てている人がいる。ですから、自然環境の保護や、人を受け入れられる街の整備などに関わつていけたらと思います。

**本日はありがとうございました。**

(須貝 静)

# 「おかえり、お父さん」

## CONTENTS

■ 卷頭インタビュー「MASAさん」	2-4	
■ CONTENTS/お父さんの「ひとこと写真館」	5-6	
■ 地域社会とは？ 地域社会での役割	7-8	
■ 兵庫で活動するひとびと		
環境	小川登さん(NPO 法人ひょうご森の俱楽部) 環境団体紹介	9-11
国際	財団法人 PHD 協会 国際団体紹介	12-14
活動	西海淳二さん(NPO 法人須磨歴史俱楽部) 活動団体紹介	15-17
農業	和田文雄さん 農業団体紹介	18-20
C B 福祉	鈴木啓隆さん(神戸東部 NPO サービスセンター) 福祉団体紹介	21-23
CB	日埜勝二さん(NPO 法人福祉ネットワーク西須磨だんらん) CB 団体紹介	24-27
■ 探	地域活動相談とお仕事探しはコチラ	28-29
■ 楽	仲間づくりに「いきがい.cc」	30-31

生きがいしごとサポートセンター神戸西

発行：生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT / 特定非営利活動法人しゃらく

発行人：小倉譲

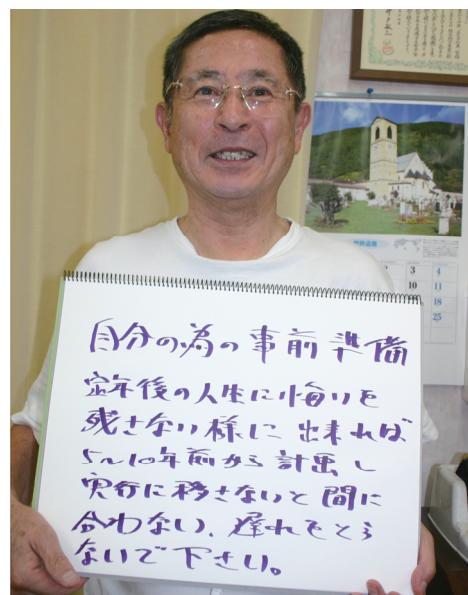
編集：森田正純・岡田真理(生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT)

編集協力：須貝静(特定非営利活動法人しゃらく)

装丁：井上満(生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT)

## ■ おかえり、お父さん 「ひとこと写真館 ~ Life on Next Stage ~」

お父さんに聞いた「退職前お父さんへのメッセージ」



## 特集 地域社会とは？

地域社会での役割

### 職縁社会から地域社会へ

職縁社会とは、企業を中心とした人間関係の中で生活を営むような社会を言います。ほとんどの男性は、高校・大学を卒業後にしごとに就き、それから数十年間、定年退職を迎えるまで、この職縁社会にその身を置いてきたのではないでしょうか。一杯飲みに行くのも、ゴルフに行くのも、会社の同僚や上司、関連企業の方と一緒に働くことが多かったかと思います。

ではその関係は、退職した後も継続していくのでしょうか？職という縁でつながっているからこそ成り立っていた職縁関係は、一般的には退職と同時に急激に希薄化するケースが目立ちます。今までつきあいの中心にあった人たちとの縁が切れてしまい、職縁社会中心の生活から突如として地域中心の生活に変わる。気がつくと気軽に話せる仲間がいなくなる。

こんな急激な環境の変化に、上手く対応できていないという人が、とくに

男性に多く見られるのが事実です。

職縁社会にいる時は様々な役割があつたかと思います。その役割を担うために、毎朝同じ時間に出発し、同じ電車に乗って会社に行く。そして会社に行けば、自分のしごとがあった。管理職、マネージャーとしてのしごとなど、一人一人が会社の中の役割を担い、その役割があるからこそ、しごとにやりがい等も感じられたと思います。その役割も、退職と同時になくなり、いつもと同じように会社に行く必要もない。しごとをする必要もない。あるのは、今まで働いていた時間をどう過ごすか、そんな悩みだけ。

退職後、いかに自分の新たな役割を見つけ、生きがいを感じられる人生を送るか？その答えは、地域にあると私は思います。

生きがいしごとサポートセンター神戸西センター長 小倉譲

地域社会とは？

### 地域社会での役割

団塊世代の一斉退職がはじまる2007年、その1～2年前から『団塊世代の地域社会への参画！』『地域レビュー講座』などといった講座が目につくようになりました。しかし、「そもそも地域社会って何？」「地域参画って？」と言った疑問が先にたって、講座の内容自体がよく理解できないというのが皆さんのは率直な気持ちなのではないでしょうか？



そこでまず一つ知っていたいのが、地域社会には、大きなカテゴリーに分けて地縁組織と志縁組織という2つの組織があるということです。地縁組織とは、その土地からつながっている組織で、自治会や婦人会などこれに当たります。

## 特 集 地域社会とは？

### 地域社会での役割

土地からのつながりでの組織のため、居住地によってメンバーが異なり、活動範囲も限定されています。また活動内容は、地域社会の運営や管理が主で、街灯やゴミの管理、保安、防災などです。

一方、志縁組織とは、NPO やボランティア団体など、一定の問題意識に基づいて志を共にするメンバーが集まり運営する組織を言います。この志縁組織も多種多様であり、地縁組織と類似した活動をしている組織もあれば、福祉・環境・子育てなど、もっと専門性を発揮しながら運営をする団体もあります。



### 一週間に 1 回でもいい、地域活動に参加してみよう。

兵庫県下の NPO 法人数は 1300 団体（2007 年 9 月現在）を数え、地域社会における様々な問題や課題に対する使命を持って活動しています。

地域社会には、職縁社会にはない地域社会特有のつながりや関係があり、



一つ一つの団体に確かな役割があります。退職してこの世界に足を踏み入れるには少しばかりの勇気が必要かも知れませんが、一度入ってみれば、今までにないやりがいや役割を担うことができるはずです。また、新たな交友関係ができるなどして、生きがいある人生を送るきっかけが見つかる可能性は非常に高いと思います。

最後に、この冊子では、現在、地域社会において活動されている方々を紹介させていただいております。また、今後皆様が地域で何かを始める上でのヒントやきっかけも、コンテンツの中にできるだけ多く詰め込んだつもりです。さらには 11 月 10 日に、実際に活動されている方の生の声を聞く機会もイベントの一つとして設けてあります。ぜひ皆様にこれらをご活用いただければうれしく思います。

（小倉譲）

## Close-up

# 森がきれいになっていく実感

小川登さん NPO 法人ひょうご森の俱楽部

それた台風の影響か、晴れ渡った青空。涼しい風がなんとも心地いい。

賑わいのあるベッドタウンの駅を降りると、日焼けをした健康的な肌が印象的な、明るい笑顔の小川さんが立っていた。

小川さんは現在、「NPO 法人ひょうご森の俱楽部」で「森林ボランティア活動」を行っている。荒廃した森林の手入れをし、元気な森を作ろう、そんな活動だ。

現在、多くの山は、人の手が入ることなく、荒廃の一途を辿っている。隙間なく木が生い茂る森林は、光が入らず、草も育たない。草が育たないと生き物たちも減ってしまう。生き物が減ると森から海へ流れる水も元気がなくなり、その影響は海にまで及んでしまう。

「一度、人の手が入った山は、人の手を入れ続けなくてはいけないんです」人工林や里山をよみがえらせる森林ボランティアのやりがいを小川さんはこう語る。



環境

「何より森がきれいになっていく実感があること。今自分たちにできることをやっていく。自己満足なのかもしれません、日々実感できることは何より楽しいですね」

ひょうご森の俱楽部の朝来市にある活動地のリーダーとして、若い世代に森を守ることの大切さを伝え、活動を支えている小川さん。「ほどよい責任感と新しい人たちに森をきれいにする方法を伝えていくことはやりがいがあります。自分の教えていくことが後世へも伝わっていくということは楽しい」そもそも活動のきっかけはなんだったのか、聞いてみた。

## 続ける理由

「在職中、先輩に『趣味はあるか?』と聞かれたんです。そのとき私は答えられずにいました。それからゴルフやパラグライダーなどに挑戦しましたが長続きせず、そんなときに出会ったのが『兵庫みどり公社』の森林ボランティアのチラシでした」そのチラシを目にした小川さんは、さっそく奥様に相談。普段はこういった提案に否定的な奥様も、このときばかりは快諾。さらには一緒に活動へ参加するようになった。



## Close-up

# 森がきれいになっていく実感

小川登さん NPO 法人ひょうご森の俱楽部

環境

小川さんがこの活動に参加してからすでに8年を数える。最初の6年は、平日は会社勤め、週末はボランティアという日々を過ごしたが、定期的に全く異なる環境に自分を置くことで、普段の仕事にもいい影響が少なからずあったという。「ボランティアでの付き合いってタテ社会とは考え方方が違うんです。人と人との付き合いというか。会社以外の関係を会社時代に持っていたことは、ストレス解消にもなって、プラスの効果は大きかったです」と思います」

ボランティアでの関係は、ある種割り切った関係だと小川さんは言う。「みんな何をやってたとか、何をやってるとか、歳がいくつとかそういう話をすることはできません。親しくなって初めて同じ会社に勤めていたことがわかった、なんてこともあります」この関係がボランティアを続けていけるポイントのようだ。



小川さんは森の俱楽部の活動を通してたくさんの人と出会い、活動の場が広がっている。「最近、体が動かなくなってしまった(ひょうご森の)俱楽部の活動ができなくなったときのために、こんなことを始めたんです」そういうって小川さんはお洒落な木製の勾玉を取り出した。「これも俱楽部で出会った人から教えてもらったんです。これなら座ってできるでしょう?」



小川さんはすでに10年後を見据えている。そんな小川さんに活動のポイントを聞いた。

「とにかく動くことですね。退職後も終わったーと息抜きする前に動くことが大事なように思います。遊びの時間が長くあるとしんどくなってしまいます」

「動くことで森を守る(小川さんは「森と遊ぶ」としていた)活動をはじめ、そこで出会った人たちから新しいことを学び、行動する。

きれいに磨かれた勾玉の曲線には笑顔で話す小川さんが映っている。きっと10年経ってもその笑顔は変わらないだろう。

(井上満)



## Pick Up!!

## 未来へカタチが残る活動を

次世代へきれいな環境を残すために今だからできることがあるかもしれません。

### アースパル KOBE



今年の夏も酷暑と局地的な集中豪雨や異常気象が頻繁に報じられています。春夏秋冬の季節感で育った私たちの子どもの頃と比べると地球は大変な状態です。「アースパル KOBE」は、神戸市の呼びかけに応じて集まった地球温暖化防止に関心を持つ神戸市民で、大半が定年を迎えた企業の第一線を退いた方々で構成されております。

次代を担う子たちの負担ができるだけ少なくなるよう活動を続けていきます。

#### お問い合わせ・連絡先

〒650-0024  
神戸市中央区海岸通 3-1-1  
TEL : 090-9719-2903 FAX : 078-811-3151  
HP は「アースパル KOBE」で検索 !!

### NPO 法人 エコレンジャー



地球温暖化などの環境問題の解決のために、子どもたちへの環境教育を中心に活動しています。

神戸市環境局が主催する「親子ふれあい環境教室」の企画・運営や、神戸市児童館での出張環境教室など、年間約 30 回の子どもや親子向けのプログラムを実施しており、現在約 60 名の会員が活動しています。環境や子どもに興味がある方なら、どなたでも参加できます。あなたの知識と経験を次世代につなぎませんか？

環境

### NPO 法人 ひょうご森の倶楽部



荒廃している森林を一般県民の手で手入れし、元気な森を作ろうとする、いわゆる「森林ボランティア活動」を行うとともに、森を学び、遊び、楽しむさまざまな「森とのふれあい活動」を行っています。

兵庫県内に 20 余りの活動地があり、それぞれが毎月 1 回～ 2 回、定期的に活動しています。体力、年齢、経験に応じてどなたでも参加していただけます。お気軽にご連絡下さい !!

#### お問い合わせ・連絡先

〒650-0004  
神戸市中央区中山手通 4-1-11-201  
TEL/FAX : 078-321-0049  
HP は「ひょうご森の倶楽部」で検索 !!

### やしろの森公園 運営協議会



兵庫県立やしろの森公園は、ボランティアによる里山づくりを目指し、実践している公園です。

いろいろな動植物が生息する里山林と溜池や田畠のある 55ha (甲子園球場 14 個分) の広大な里山で、田畠耕作、森林整備、自然保護、自然観察、里山の暮らし体験、子ども達に対する里山体験の指導など、広範囲な活動をしています。活動は多岐にわたり、多様な経験や特技をお持ちの方大歓迎、もちろん普通の方も。

#### お問い合わせ・連絡先

〒673-1414  
加東市上久米 1081-3  
TEL : 0795-44-1510 FAX : 0795-44-1512  
E-mail : tonbo@ddknet.ne.jp  
URL : http://www.ddknet.ne.jp/~satoyama/

今からおよそ 40 年以上も前、現地で保健衛生の普及に尽くした故岩村昇博士。その意志を引き継いで、草の根の人材育成や交流を続けているのが神戸・元町にある民間国際協力団体、PHD 協会だ。



ネパールからの第 1 期研修生を尋ねた日本のボランティアさんたち

## 日本人が失ったもの

人間にとて、「真の豊かさ」とは何だろう？衣・食・住の面ではひとおり満たされ、一見豊かさを享受しているように見える私たちの中で「真の豊かさ」をどのくらいの人たちが実感しているだろうか？まごころ、思いやり、人付き合い……モノの豊かさを追い求めるあまり、大切なものを失ってしまっていないだろうか？そんなふうに思うことが、近頃、よくある。

PHD 協会が設立されたのは、1981 年。岩村博士の「今度は現地の人々自身が状況を変えていくお手伝いがしたい」という思いを実現するために長い準備期間を経て設立された。そしてその後 26 年余りもの間、アジアや南太平洋の村の青年を日本に招き、保健衛生や農業、また、地域を支える技術・知識・経験を伝えてきた。受け入れ先の多くは日本の一般市民。モノ・カネの一時的援助ではない草の根の人材交流・育成こそが、PHD 協会の目指すものだ。

研修生の受け入れを始めて 5、6 年が経った頃から、スタッフたちの考え方には徐々に変化が訪れた。当時は、発展途上国の青年達に、日本の進んだ技術を身につけてもらおう、豊かな生活を見てもらおう、という意識が強かった。それが徐々に、日本のものが全てすばらしいわけじゃないんじゃないか？むしろ彼らの国のはうが豊かな部分、優れた部分があるんじゃないだろうか？という思いの方が強くなり、それはやがて確信に変わっていった。現在では、お互いにとっていいことをやっていこう、一緒にいいところを学び合っていこうという姿勢で彼らと付き合っているという。

そんな姿勢が国境を越えた人ととの深いつながりを生み出し続け、海外のネットワークは今や 10 国 100 人以上にまで広がっている。やってもらう、やってあげるといった関係ではなく、同じ地球人としてのフラットな付き合い方こそが、誰もまねできない、かけがえのな

い財産を築き上げたといつても過言ではないだろう。

グローバル化が進み、国際社会貢献、異文化交流などを活動目的とした団体が、徐々に増えてきている。その活動は貧困地域での物質的援助やボランティアなどを中心に、より幅広く、発展の形を見せ始めてはいるが、いまだ模索段階であることは否めない。そんな中で、ひと同士の交流にこだわり続けるPHD協会の活動に、国際交流の未来の方向性を見るような気がしてならない。

モノの豊かさが必ずしも心の豊かさとイコールではないことを、近頃多くの人が気づきはじめている。では、心の豊かさとは一体何なのだろうか？ そしてそれはどこにあるのだろうか？ その答えを知るきっかけは、この協会の活動の中に、人と人との関わりあいの中に、ぎっしりと詰まっている。(須貝 静)



最近は定年を迎えた人の参加が増えている。前職の経験を活かしてできることをしてほしい、とは総主事代行の藤野さん。ボランティア参加も大歓迎だそう。



上：現地の子どもたちとの交流の時間

左：海外研修生の学びが逆に日本の人々を「農」に向かうきっかけを生んでいる。

## Pick Up!!

## 国際協力はじめの一歩

さまざまな形で海外へ活動の場は広がります。

## 財団法人 PHD 協会



ネパールで医療活動にあたった岩村昇医師の提唱によるひとりひとりの分かち合いから「平和と健康を担う人づくり」をすすめ、共に生きる社会を目指す活動です。毎年アジア、南太平洋の村の青年を日本に招き、地域の生活改善に役立つ研究を、兵庫県の各地を中心に行っています。元町の事務所での様々な事務仕事、外へ出かけての交流会、バザーの実地。海外研修生の滞在家庭、研修指導など、多くのボランティアの参加によって活動が支えられています。

## お問い合わせ・連絡先

〒650-0022  
神戸市中央区元町通 5-4-3 元町アーバンライフ 202  
TEL: 078-351-4892 FAX: 078-351-4867  
URL: <http://www.kisweb.ne.jp/phd/>

## JICA 兵庫



シニア海外ボランティアと日系社会シニアボランティアは、JICAの行うボランティア事業の一つで、開発途上国の人づくりに協力したいという40歳から69歳までの人才を公募し、派遣する制度です。様々な分野で優れた技術・知識、豊かな経験をもつ中高年層の活躍が求められています。2007年8月末までに、60か国へ、のべ3,429名のシニアボランティアが派遣され、活躍しています。(扶養家族を随伴することができます)

写真提供:今村健志郎/JICA

## お問い合わせ・連絡先

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2  
TEL: 078-261-0341 FAX: 078-261-0342  
URL: <http://www.jica.go.jp/hyogo/>

## プラス 1(ONE) ネット



「ちょっと生活に磨きをかけてみませんか」をキーワードに、海外でのボランティア活動を行っています。

主体的に参加し、自分を成長させるきっかけを作る『市民活動グループ』です。

平成10年に活動を開始し、2月インドのマザーテレサ施設、9月モンゴルの子どもの施設、12月ベトナム・ホーチミン平和村と田舎の学校訪問など、一緒に学び簡単な仕事をします。「私たちにできることは何か」を考え、アジアの子ども達を具体的に小さな形で応援しています。

## お問い合わせ・連絡先

〒655-0006  
神戸市垂水区本多聞 4-3-213-402  
TEL: 090-2354-1209  
E-mail: [yasukoplus1@nifty.com](mailto:yasukoplus1@nifty.com)  
HP: <http://homepage3.nifty.com/plus1net/>

## ユニセフ協会兵庫県支部



世界の子ども達の命と健康を守るために活動する国連機関、ユニセフ。その日本での活動を支援するために、2002年に日本ユニセフ協会兵庫県支部が設立されました。

現在、約80人のボランティアの皆さんを中心となって運営しており、活動内容は、学習会の講師活動やユニセフグッズやカードなどの頒布活動、広報・啓発や募金活動など様々。皆さん一度参加してみませんか?

## お問い合わせ・連絡先

〒658-0081  
神戸市東灘区田中町 5-3-18 コープ神戸生活文化センター 4F  
TEL: 078-435-1605 FAX: 078-451-9830  
HPは「ユニセフ兵庫県支部」で検索!!

## Close-up

## 歴史薫る須磨ならではのおもてなし

西海淳二さん NPO 法人須磨歴史倶楽部

須磨という地名に、良いイメージを持つ人は多い。万葉集にも詠まれ、古の時代から多くの貴族や文人たちの憧れの地であり続けた須磨は、今多くの人の心を惹きつける魅力を持っている。

須磨ノ浦女子高等学校で教鞭をとる西海淳二さんも、そんな須磨の魅力に惹きつけられた人の一人だ。

明石に生まれた西海さんは、中学、高校と須磨の学校に通った。大学時代から『平家物語』の研究に没頭し始めたこともあり、ゆかりのある須磨という土地に並々ならぬ愛着を感じていった。

そしてその後大学院を経て、高校の教員になってからは、須磨に住むようになった。仕事以外の時間は『平家物語』の論文を書いたり、須磨の史跡散策に費やすことが多かった。



活動

震災のある年のある日、地元の自治会活動をする人たちから須磨のまち案内をしてくれないかという依頼がきた。西海さんは、戸惑いを感じながらも快諾、30人を連れて須磨浦公園の中の史跡を解説しながらまわった。「自分自身、文学探訪なんかにも参加した経験もありませんでしたし、手探り状態で、全て自己流でやりました」それから、評判を聞きつけた他地域の団体から依頼が殺到。西海さんの名前が須磨を中心に徐々に知られていった。

## 須磨歴史倶楽部のはじまり、そして今

2003年、須磨区役所の提案で須磨の歴史に興味を持つ人たちが集まり、須磨歴史倶楽部が任意団体として発足した。最初はその中のメンバーの一人に過ぎなかった西海さんが、その実績や知名度から押し出されるように会長に担ぎ出されるのに、そう時間はかからなかった。

2004年の夏、JR須磨駅構内に一卓のテーブルが置かれた。須磨に来る観光客を案内しようと、西海さんらが提案したものだった。「まずはできることからやろうじゃないかと。それで研修を重ねて、

10月に初めてある中学校の総合学習で案内をしました。これを始めてからやっと名前と活動が知られるようになりましたね」

そして翌年からは“幻のかるた”と呼ばれる『須磨百首かるた』の復元にとりかかった。ある地域住民の家でひょっこり見つかった80年以上も前のかるたを元に、新しいかるたを一枚一枚丹念に、メンバーが一丸となって手作業で作り上げた。苦労して作ったかいもあり、周りの評判は予想以上だった。

## Close-up 歴史薫る須磨ならではのおもてなし

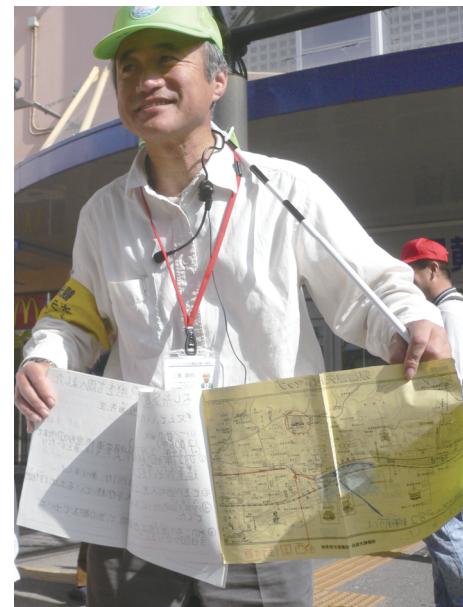
西海淳二さん NPO 法人須磨歴史倶楽部

今では街で売られているだけでなく、いくつかの小学校からも、かるた大会で使わせてくれという嬉しい声が届いているという。

須磨歴史倶楽部は今年に入り、NPO 法人となった。現在のメインの活動は、須磨駅や須磨寺からの同行案内。始めてから 3 年が経つこの活動の参加者は、多いときは 300 人を超えることもある。

そしてもうひとつが、毎月開く講座「須磨学」の開催。この講座にも毎回 50 人を超える人が集まる。地道な活動が着々と実を結びつつある。

メンバーは現在、全部で 34 人いる。西海さんはメンバーの家族から「うちの人、元気に行ってますよ」などと声をかけられるのが一番うれしいという。メンバーが活動に参加することでいきいきとし、また、周りの家族もそういう面を認めながら歴史倶楽部の活動を支えてくれている。そういうことを実感するのだそうだ。「他にも、同行案内が終わったときに参加者の皆さんがあ手してくださるときとか、須磨の歴史に興味を持っていただいた方が毎回来てくれるようになるときとか。心から喜びを感じられる場面は非常に多いですね」



しかしそれでも、西海さんは現在の活動に対して満足していないという。まだ自分の生きがいと言えるところまで達していない、そういう意識があるのだ。西海さんの視線の先にはどんな絵が描かれているのだろうか。

「これからは同行案内や講座などでもっと私たちの活動を知っていただく一方、須磨に来られた方におもてなしをしようという気持ちを、地元の人たちといっしょに養っていきたいと考えています。須磨の伝統的な文化をもっとみんなに知っていただく。そしてそれをうまく生かしてまちづくりのお手伝いもしていきたいと。だから私たちが同じ場所に留まって、みなさん、昔こんな歌があったんですよ、知りませんか？ 知ってください！ と叫んでいるだけではダメなんです。それをいかに街の生活の中に響かせていくのか。そういうことを考えていかなければと思っています」

(須貝静)

## Pick Up!!

## 地域にはいろいろな活動がある!!

地域にはたくさんの活動が溢れています。参加してみるのもよし。  
自分たちで立ち上げるのもよし。選択肢を広げてみて下さい!!

### NPO 法人 須磨歴史倶楽部



須磨歴史倶楽部は、平成15年11月、須磨区役所の提案で須磨の歴史に興味を持つ人たちにより発足。

須磨区内の貴重な歴史的資源を有効的に活用することで、地域の方々には、地元再発見を、来訪者にはこの街の魅力を感じ取っていただくために活動をしている。JR須磨駅案内コーナー設置、同行案内、講演会講師派遣、「須磨百首かるた」複製、歴史講座「須磨学」開催、まち歩きウォークなどに取り組んでいる。

#### お問い合わせ・連絡先

〒654-0061  
神戸市須磨区高尾台2-4-3(川島方)  
TEL: 090-8539-8703 FAX: 078-731-2337  
HPは「須磨歴史倶楽部」で検索!!

### シニア IT アドバイザー (SITA)



シニア IT アドバイザーとは富士通ラーニングメディアが認定するシニア向けのプログラムです。シニアや初心者を対象にパソコン指導を担えるインストラクション技術を中心に学びます。Word、Excelの基礎が出来る方ならどなたでも挑戦できます。

阪神間では富士通オープンカレッジ芦屋校が種々のコースをご用意しています。認定を受けた方々は「阪神 SITA クラブ」などで実際に活動されています。

#### お問い合わせ・連絡先

〒659-0065  
芦屋市公光町10-14 フラッテロ芦屋ビル3F  
TEL: 0797-38-0090 FAX: 0797-38-0028  
URL: <http://www.is-com.co.jp/>

活動

### 父親サポート関西



関西各地の公民館などで『楽しい科学実験 & おもちゃづくりの親子教室』を開いています。楽しい科学実験や、身近な材料で楽しいおもちゃ作りを通じて、楽しい親子のコミュニケーションをはかります。子どもが大人になっても主体的にやさしく楽しい人になっていたく為に、父(母)親の子育てをサポートする団体です。

#### お問い合わせ・連絡先

〒663-8113  
兵庫県西宮市甲子園口1-7-6-303  
TEL: 080-5309-5208 FAX: 0798-64-6450  
HPは「父親サポート関西」で検索!!

### 識字教室 ひまわりの会



様々な理由で、文字を学ぶ機会を奪われた人たちと一緒に文字を学ぶ教室を開催しています。学習者は、韓国・朝鮮人1世、中国、日本の人々。経験も学歴も不要です。差別の嫌いな人、笑顔の人を求めています。毎週土曜日の午前が教室です。教材作りやニュース作りなど、あなたの特技を活かしてください。参加をお待ちしています!!

#### お問い合わせ・連絡先

〒652-0898  
神戸市兵庫区駅前通5-3-25-302  
TEL/FAX: 078-512-3703  
HPは「識字 長田」で検索!!

## Close-up 自然農法に挑戦!!

和田文雄さん

サラリーマン時代から、アクティブで多趣味だった和田さん。定年を迎えて6年経つた今も、趣味の野菜作りや書道に忙しい毎日を過ごしている。「『自然農法（\*）』と出会ってから、農業が自分一番の生きがいになった」そう語る和田さんの目が輝いて見えるのは、ひょっとしたら、今の生活が会社勤めのときより充実しているからなのかもしれない。

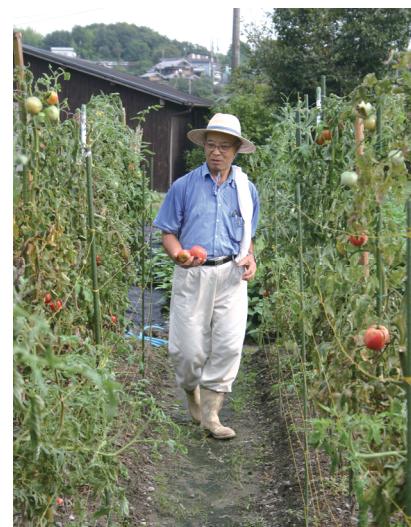


\*自然農法とは  
通常の農法は窒素、リン、カリを基本に土作り（メタン発酵となり土壤菌が侵される）に重点をおくが、自然農法は、空気中の炭素、酸素、水素など（エタン発酵にして土壤菌を増殖させる）、いわゆる大気中のエネルギーを基本としている。

### 自然農法との出会い。挑戦。

和田さんが野菜作りと最初に出会ったのは、30代の頃。当時住んでいた北須磨団地の近くに空き地を借りて切り開き、会社の仲間たちと畑で野菜作りを始めた。とはいってもその時は週に一度くらいで、休日をみんなと一緒に楽しく過ごせれば、という程度のものだった。ひどい荒地で、野菜作りができる土地にするまでにかなりの時間と労力を費やした。それでも苦労のかいもあって、仲間達と一緒に作った四季折々の野菜の味は格別なものだった。食べきれない野菜は近所や友人に配って、たくさんの人々に喜ばれた。

その後は西神へ引っ越したこともあり、野菜作りからはしばらく遠ざかっていたが、野菜作りをまたやりたい、という想いは、和田さんの心の中ですっとくすぶり続けていた。そして、定年後のことを考え始めた55歳の時に一つの決断をした。定年後は書道だけでは時間も持て余すだろうし、やっぱり農業を本格的にやるしかない！無農薬で栄養分が豊富な、美味しい野菜を作ろう！そう心に決めた。そして定年を迎える頃には大体の準備を終えた和田さんは、以前から母親が借りてやっていた畑を引き継ぐ形で本格的に野菜作りを再開した。





最後に定年後の生活を充実させるコツを聞いた。「まずは近所や友達など、人との付き合いを大事にしてできるだけコミュニケーションを持つこと。二つ目はとにかく行動すること。行動しなければなにも生まれません。三つ目に夫婦関係。適度な距離を保ってお互いにやりたいことをやる。こういうことが大事なんだと思います」

## 生きがいを見つけた充実した日々

再開してまもなく、和田さんはあることに気がついた。一人で畑を耕すのに費やす労力と時間が余りにも大きすぎることだった。畑を耕すことが大切なのは当然だが、このままでは楽しみも半減してしまう…。和田さんは悩んだ末に、農機具を購入することを決め、すぐに探しに回った。そして結果的にこのすばやい行動が、和田さん自身に「自然農法」との出会いをもたらすことになった。

和田さんはある農機具の購入先で「自然農法」を紹介された。そして、どうしても自然農法をマスターしたい!と思った和田さんは、そこに1年半ほど通い続けた。トラクターの操作、種まきから収穫までの作業など、多くのことを教えてもらいながら、がむしゃらに吸収した。

そして和田さんは現在、そのマスターした自然農法でおいしい野菜を作っては、自分で食べたり、近所や友人に配ったりしている。自分自身の健康もさることながら、周りの人が喜んでくれることも、和田さんが野菜作りを続ける上での一つの糧になっている。

人間の生活を支える「食」を大事にすることこそが、元気な生活を生み出していく。だから自分で体にいい野菜を作って、自分で食べて、自分を元気にしていくんだ。そう強く語る和田さん。「生きがい」を手にした和田さんの充実した生活は、まだまだ終わりそうにない。

(岡田眞理)



## Pick Up!!

## 農業体験から本格的な就農まで

兵庫楽農生活センター

農業のことは全く分からず。どこか手軽に教えてくれるところはないだろうか？こんなお考えの方には是非おすすめしたいのが「兵庫楽農生活センター」だ。

「楽農生活」とは、農作業体験や農村漁村との交流などを通じ、「食」や「農」に親しみ、より人間らしい暮らしを送ろうという、兵庫県が提唱する新たな生活スタイル。



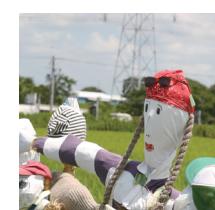
「兵庫楽農生活センター」では、誰もがこの「楽農生活」の体験や実践が出来るよう、また気軽に「農」の大切さを学べるよう様々な施設やプログラムを用意している。農を学び、体験し、実践できる、縁いっぱいの広々とした環境と設備が充実している。

農業に就きたい、農業を楽しみたい方の入門コースとして経験豊かなスタッフが丁寧に指導してくれる。いろいろな施設のある当センターの中で、セカンドライフの充実を願う方々へおすすめコースとして、センターの楽農学校課長、澤井利昭さんがお勧めするのが「楽農学校」だ。当学校では生きがいとして農業を楽しみたい人や本格的な農業経営を目指す人を対象に、基礎的農業技術から総合的な農業技術まで学ぶことが出来る。以下のコースが用意されている。

## 生きがい農業コース

16年9月にスタートさせて以来、募集人員をいつも上回る人気プログラム。現在7期の方が活動中。

目的	市民農園利用をしようとする人に基礎的な農業の知識と技術の習得をしてもらうための研修
対象者	市民農園等の利用を希望する人。栽培技術の向上にも有効
研修日	土曜日、日曜日(9:30~16:00)
研修期間	4月~9月春夏コース 9月~2月秋冬コース
研修内容	野菜栽培に必要な基礎知識の講義(月2回程度)、農場約45m <sup>2</sup> を自己管理のもとに野菜栽培を体験。指導員のサポートを受け、理論と実践両面から体験できることが人気
受講料	30,000円/期



## 就農コース

本格的に農業に取り組みたい方向け。約250m<sup>2</sup>のビニールハウス一棟と300m<sup>2</sup>の農地を使って栽培から農業経営まで総合的な知識と技術を習得する研修。若い人、早期退職の人、定年を迎えた人と幅広い年齢の方が参加している。

研修日	毎日(ただし休園日を除く)
研修期間	1年~2年
研修内容	就農に必要な基礎知識の講義(月2回程度)、農場約300m <sup>2</sup> やビニールハウス約250m <sup>2</sup> を利用しての野菜栽培
受講料	120,000円/年

## 兵庫楽農生活センター

〒651-2304 神戸市西区神出町小東野30-17 TEL: 078-965-2651 FAX: 078-965-2653  
URL: <http://hyogo-rakunou.com/>

センター内には楽農レストラン、「育みの里かんでかんで」という自然派レストランがあり、昼食時のランチはバイキング形式で内容も充実しています。ドライブがてら見学に行くのもお勧めです。

## Close-up 肩肘はらずに

鈴木啓隆さん 神戸東部 NPO サービスセンター

ある90歳になる独居男性宅の庭である。15平方メートルほどの一面に目立ち始めている草引きが今日の作業だ。9月に入っても陽射しは厳しい午前10時30分過ぎ。鈴木啓隆さんは身支度を整えると腰をかがめて作業を始めた。額に汗を光らせながら、柔軟な表情で淡々と話すその姿は、とても印象的だった。

「ボランティアは人のため、という意味合いもあるでしょう。でも、私の場合は私自身のためにやっています。自分自身の健康のため、生活にリズムを持たせるため。家で一日中じっとしていると、(頭を指して)こっちの方がおかしくなっちゃいますからね。ただ、無理はしません。自分ができる範囲のことをやるだけ」その表情は余裕のある、満ち足りたものだった。



C  
B  
福祉

## 「責任をもってやりたいから」

鈴木さんはある中堅商社を定年退職した。会社の要請で半年間勤務を延長したことだった。外国語もひとつおりはできる。しかし、退職後はこれまでのような営業に関わることはやりたくなかったという。

退職後まもなく、JR福知山線の車両脱線事故という大惨事が勃発した。被害者救済に近郊のNPO団体が集結し、その活動に特化する新たなNPOが設立された。パソコン操作に通じていた鈴木さんはそのメンバーに加わった。ボランティア活動のスタートだった。

この活動が終わってしばらくすると、鈴木さんはNPO法人「コミュニティ・サポートセンター神戸」を通じて「生きがいごとサポートセンター神戸東（愛称ワラビー）」を訪ねた。

もともと夫人が生活協同組合に所属していたこと也有って、コミュニティ・サポートセンター神戸の理事長、中村順子さんとはその設立前から面識があった。そんな背景も手伝って、鈴木さんが現在の所属先である「神戸東部NPOサービスセンター」に登録するのにも時間はかからなかった。



## Close-up 肩肘張らずに

鈴木啓隆さん 神戸東部NPOサービスセンター

現在請け負っている作業は草引き、部屋の掃除、買い物の手伝い等、高齢者の生活支援。1時間で済むこともあるし、3時間くらいかかることも。請け負った家の事情によりまちまちだ。この日の草引きはスポットで依頼があったもの。

高齢者の生活支援といえば家の中のことも多いが、どちらかといえば女性宅からの依頼が中心。この場合、支援する側もやはり女性の方がいいようだ。男性は外回りを任せられることが多い、と微笑む鈴木さんだ。そして、高齢者の人たちとの出会いはそれぞれ違った環境、考え方を知ることが出来、すごく勉強になる、とその姿勢はあくまで前向きだ。



## 有償だからできる責任ある仕事

ボランティアに参加する心構えを尋ねてみた。

「仕事そのものはそんなにきつくなから、身体さえ丈夫だったら続けられます。それよりも自分の気持ちの持ち方が大切。例えば以前は会社でお偉いさんだった人が参加して、何だこんなこと、と思うと精神的に辛いものがあるかもしれません。プライドのようなものを捨てないとボランティアはできません。退職後はフラットな気持ち、誰とでもお友達感覚でやらないといけないと思いますね。

それと、本来ならボランティアは無償でやるのが筋だ、という人もいますが、私の場合は有償ボランティアで続けています。無償ボランティアとなると、自分ではいい格好していても、どこかで無責任になる恐れがありますから。

いくらでもいいから、報酬を貰うかわりにきちんとした仕事をやる。それが私の信条なんです」もちろん、人はそれぞれで、私は無償でも責任のある仕事をやるという人は、それはそれでやられたらいいと思う、と付け加えられた。

いつの間にか鈴木さんの周りはグリーンの草むらから黒い土に変っている。陽に焼けた額から汗が溢れていた。

(森田正純)

## 神戸東部NPOサービスセンター

### お問い合わせ・連絡先

〒658-0051  
神戸市東灘区住吉本町2-13-1 森田ビル4F  
(NPO法人CS神戸内)  
TEL: 078-841-0323 FAX: 078-841-0312  
E-mail: nposc@cskobe.com  
URL: http://www.tc-nposc.com/  
開室日: 月曜日~金曜日(9:30~17:30)

## Pick Up!!

## 「ありがとう」の笑顔をみたいなら

体の不自由な人や高齢の方の生活サポートなど、地域には支えあいの活動があります。

### 劇団 GO!GO!



「劇団 GO!GO!」は平成 11 年に設立、地域の保育園、幼稚園、小学校、障がい児施設等で手作りの人形劇を通して、子どもたちにメッセージを送るグループで、子ども達に少しでも夢や希望を感じてもらえたらしいなと思い活動しています。

子どもたちの人形劇を見る眼の輝きは、私たちに勇気と生きがいを与えてくれます。誠実な方のお手伝いを待っています。

#### お問い合わせ・連絡先

〒654-0054  
神戸市須磨区須磨本町 1-1-45  
TEL/FAX : 078-732-3465

### NPO 法人 まどか



明石で介護保険事業・障害者福祉事業・患者等輸送事業・地域サポート住宅事業を行っています。

「みんないっしょに笑ってみたいね。ずっと手をつないでいたいね。みんなでたすけあえたらいいね。みんなでずっとずっと同じ空の下で笑おうね」をモットーに活動中です。現在、ボランティアスタッフを募集しています。元気でやる気のある方、一緒に働きませんか？

#### お問い合わせ・連絡先

〒673-0018  
明石市西明石北町 1-16-23-103  
TEL : 078-925-6011 FAX : 078-929-5633

C  
B  
福祉

### NPO 法人 ゆいま～る神戸



「ゆいま～る神戸」では、訪問介護事業所や地域生活支援など、地域に密着した助け合いの精神で活動しています。「ゆいま～る」は沖縄の方言で「助け合い」の意味。皆が助け合える地域を目指しています。

「できることを、できるときに、できるかぎり、心をこめて」ゆいま～る神戸では、この言葉を胸に日々活動しています。興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

#### お問い合わせ・連絡先

〒654-0141  
神戸市須磨区竜が台 5-17 名谷南センター内  
TEL: 078-792-5728 FAX: 078-792-5815  
E-mail : yuimaaru@estate.ocn.ne.jp

### NPO 法人 ゆう工房



「障がいのある人もない人も共に音楽を通して楽しめましょう」を理念に活動しています。地域に密着した活動の発信地としてコーヒーを飲みながら音楽やおしゃべりを楽しむバリアフリーーカフェの運営や音楽療法、大人塾の開催、コンサート活動、人権講演といった活動をしています。

音楽が好き、運転大好き、何もなくてもOKです。何かはじめてみたい人集まれ!!

#### お問い合わせ・連絡先

〒673-0402  
三木市加佐 98-1  
TEL: 090-1969-3024 FAX: 078-303-0261  
URL : <http://www3.to/you-kobo/>

## Close-up リードタイムを持つことが大切 !!

日埜勝正さん NPO 法人福祉ネットワーク西須磨だんらん

C  
B

日埜さんが所属する NPO は、介護保険枠外のサービスを中心としたコミュニティ・ビジネス(※1)として、有償ボランティア(※2)で提供している。

この日訪れたあるグループホームの玄関先に車椅子で現れたなんだか楽しそうにワクワクした顔のおばあちゃん。挨拶もそこそこに、真夏の太陽の下、日埜さんはその車椅子をゆっくり押し進めていった。おばあちゃんは犬が大好きで、一人暮らしのときから

数匹の犬たちと暮らしていた。毎日自分が住む町を大好きな犬たちと一緒に歩くことが日課だったが、高齢により一人暮らしが出来なくなった。しかたなく犬たちを家に置いたまま施設に入居した。心苦しい選択だった。おばあちゃんにとってはこの犬たちが家族であり、何よりの生きがいだったのだから。施設に入居した今となっては、介護保険対象(※3)のサービスしか受けることが出来ない。大好きな犬たちにもなかなか会いに行くことができなかった。

日埜さんのこの日の活動はおばあちゃんの楽しみに手を差し伸べるものだ。



## 街の人みんなが知り合いのコミュニティ

施設から犬がいる家までは、すんなり行けば、ゆっくり歩いても 5 ~ 10 分程しかからない距離だ。しかし、実際は 20 分ぐらいかかるであろうか。道行く人が「こんにちは!」「元気?」としきりに声をかけてくるのだ。日埜さん曰く、「これでもいつもより少ないほうかな。みんな暑いから家にこもってるんだろうね」この地域密着型のサービスが単に形だけなのではなく、地域住民一人ひとりから信頼と信用を得て、今やなくてはならない存在になっていることがわかる。

日埜さんは目的地に着くまでの間、少しの沈黙もつくることがない。道先に咲くアサガオの花を二人で眺めたりしながら、おばあちゃんの大好きな犬たちの毎日の様子を伝える。優しく語りかけるその声は、側で聞いている私まで癒されるほど柔らかく、心地よい。

家に着くと、白い老犬が待ちきれないとばかりに尻尾をふりながら、おばあちゃんを出迎える。会いたかった。元氣で良かった。おばあちゃんも顔をくしゃくしゃにしながら老犬に顔をすりよせる。日埜さんにも自然と白い歯がこぼれる。「この犬ももう 13 歳。おばあちゃん



将来、自分も見守られる立場になる時のことも頭によぎる。その時の為にも、今、仕組みを作つておきたいという。

自分の将来は自分でも努力しなくちゃね。今は、なにか素晴らしいものが少しづつ姿を見せかけている時代、これから地域活動をする方々にエールを送ります。

C  
B



にとっても生きがいだから、長生きしてもらわないと」と日埜さん。メンバーが交代で毎日ここにきて餌をあげ、犬の世話をしているという。

おばあちゃんの笑顔を見届けたあとは、ちょうど昼前、休む間もなく次の仕事。一人暮らしのおじいちゃんにお弁当を届けるボランティア活動だ。特養老人ホームで作られたお弁当を、保温容器に入れて車で届ける。ただお弁当を運ぶことだけではなく、元気にしているのだろうか、

食欲はあるのだろうかと一人暮らしの方の見守りやコミュニケーションを図ることも目的なのだという。

NPO法人福祉ネットワーク西須磨だんらんの中で行われているこれらの活動は、法やルールの中で生まれた、いわゆるビジネスではない。人が人を思いやる自然な気持ちから生まれたもので、いたって普通のことをごく自然に行っているだけなのだ。でも、だからこそ、その存在が街の人から大事にされている。

## 自分の将来は自分で努力してみつけなきゃ

そもそも日埜さんの地域活動歴は長い。30代の頃から有志で、子ども達を安心して育てるることを目指す地域活動に3人の子どもの父親として参加し、デイキャンプや、卓球・テニスなどの野外活動参加など、様々な分野で活動してきた。そしてあの阪神淡路大震災で、地震直後の混乱の中、行政だけではきめ細かな住民支援をできない現状を目のあたりにし、住民の個人個人の助け合い「困ったときはお互いさま」の考え方と地域での助け合いネットワークの必要性を強く感じた。



## Close-up リードタイムを持つことが大切 !!

日埜勝正さん NPO 法人福祉ネットワーク西須磨だんらん

それから会社が休みの日は数多くボランティア活動をしてきたという。職縁社会に居た頃も、決して安定していたとはいえない。会社の終息により、自分の意思とは関係なく、3回の転社を繰り返してきた。めまぐるしく変わる職場環境。日埜さん自身が落ち着いた心を保つためには、心安らかに活動できる地域が必要だったのかもしれない。

『退職してから地域』では遅すぎる。それよりももっと早く、どんなに小さなことでもいいから地域にかかわってほしい。滲み出す汗を拭いながら日埜さんが別れ際に残したこの一言が、今も熱を帯びている。(小倉譲)



### CB(※1)

コミュニティビジネスとは、地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取り組みの事を言います。

### 有償ボランティア(※2)

本来は無償で行うことがボランティアですが、有償ボランティアは低額ではあります、謝礼としてお金が支払われます。無償の場合だと、「長続きしない」や「無償のため責任感が薄れる」などの問題が発生することがあるため、お金をもらえることによって責任感がまし、また長続きする事が多いからだと言われています。

### 介護保険(※3)

40歳以上の方全員が被保険者(保険加入者)となり保険料を負担し、介護が必要と認定されたとき、費用の一部を支払って介護サービスを利用する制度。

## Pick Up!!

## 地域を考える !! コミュニティ・ビジネス

地域の様々な課題を地域の人たちが主体となって、ビジネス手法で解決していきます。

### NPO 法人 神戸西助け合いネットワーク



定年後の元気な人たちの活動拠点と生きがいづくりに貢献したいと活動しています。

1. 足の不自由な方の移送サービス、2.ひとり暮らしの高齢者支援の給食サービス、3. 地域で困っている人たちへ、家の片付け・庭木の剪定や草刈などの街の便利屋さん、4. 家具などのリサイクル、5. 太陽光発電などの地球温暖化防止活動に取組んでいます。あなたのご参加をお待ちしています。

#### お問い合わせ・連絡先

〒654-0155  
神戸市須磨区西落合 2-1-6  
TEL: 078-795-3786 FAX: 078-795-4498  
HPは「神戸西助け合いネットワーク」で検索 !!

### NPO 法人 東灘地域助け合いネットワーク



「0歳～高齢者までの共生」を目指しています。市場の空き店舗を活用して、各種カルチャー教室、リサイクルショップ、「喫茶ふらり」などを運営中。また、介護保険適用外の仕事の受け皿をつくり、高齢者が安心できるサービスを提供しています。福祉の専門家ではなく、ご自分の特技や経験を活かすことで生きがいの創造、余暇活動仲間作りをしませんか？

#### お問い合わせ・連絡先

〒658-0046  
神戸市東灘区御影本町 6-15-17  
TEL: 078-843-4029 FAX: 078-842-2907  
HPは「東灘地域助け合いネットワーク」で検索 !!

### NPO 法人 福祉ネットワーク 西須磨だんらん



住み慣れた所で誰もが安心して暮らしお互い助け合う福祉コミュニティを目指しています。

地域での「困った」を有償ボランティアで解決しています。

掃除や洗濯、料理や子守りに見守りなどの家事援助サービス。また、食事や外出などの介助も行っています。地域の人による地域内での助け合いに参加してみませんか？

#### お問い合わせ・連絡先

〒654-0036  
神戸市須磨区南町稻葉公園 稲葉プラザ 2F  
TEL/FAX: 078-731-2430  
HPは「西須磨だんらん」で検索 !!

### NPO 法人 Do ライフ



旅好きがお互いの日常の中にある余暇の時間を提供し合うことができれば、ガイドブックをなぞる様な旅ではなく、より効率的に、より豊かな現地体験を可能にすると考えています。旅好きの方で、特に海外生活や海外経験の豊富な方、ネットワークをお持ちの方。インターネットサイト事業に関心のある方など募集しています。

#### お問い合わせ・連絡先

〒675-1314  
小野市長尾町 460  
TEL: 0794-62-6050 FAX: 0794-62-6050  
URL: <http://dolife.ddo.jp>

C  
B

地域で活動をはじめるとき「どこへ相談すれば？」と悩んだらココをチェック！

## 生きがいある活動、しごとをお探しの方は

「お金よりもやりがいのある仕事や活動がしたい!!」という方からの、さまざまなセミナーや職業紹介、起業相談などを受け付けております。お近くのセンターへご相談下さい!!

### 生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT

〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺町 2-2-4  
 TEL : 078-731-2251 FAX : 078-735-0164 E-mail : next@ikigai.cc  
 火～土曜日 10:00～18:00(日・月・祝・お盆・年末年始はお休み)

### 生きがいしごとサポートセンター神戸東 ワラビー

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町 2-13-1 森田ビル 3F  
 TEL : 078-841-0387 FAX : 078-841-0312 E-mail : info@cs-wallaby.com  
 月～土曜日 9:30～17:30(日・祝・お盆・年末年始はお休み)

### 生きがいしごとサポートセンター阪神北 CDC

〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F  
 TEL : 0797-87-4350 FAX : 0797-87-7799 E-mail : cdc@hnpo.net  
 月～土曜日 9:30～18:00(日・祝・お盆・年末年始はお休み)

### 生きがいしごとサポートセンター阪神南 UN

〒660-0861 尼崎市御園町 5 尼崎土井ビルディング 2F  
 TEL : 06-6412-8448 FAX : 06-6412-8444 E-mail : ikisapo@npos.cc  
 火～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00(日・月・祝・お盆・年末年始はお休み)

### 生きがいしごとサポートセンター播磨東 ウェキス

〒673-0005 明石市小久保 120-55 サバービアシティ 21-A 棟 102 号  
 TEL : 078-926-0085 FAX : 078-926-0084 E-mail : info@wekiss.net  
 月～水・金・土曜日 10:00～19:00(日・木曜日・祝・お盆・年末年始はお休み)

### 生きがいしごとサポートセンター播磨西

〒670-0932 姫路市下寺町 43 姫路商工会議所新館 4F  
 TEL : 079-224-8900 FAX : 079-224-1553 E-mail : info@ikisapo-harima.com  
 月～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00(日・祝・お盆・年末年始はお休み)

## 活動のヒントが欲しい!!

ボランタリー活動の拠点として、情報提供や相談、助成などを行っています。ネットワーク作りやNPO法人設立の相談にもお答えします。

### ひょうごボランタリープラザ

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー 10F  
 TEL : 078-360-8845 FAX : 078-360-8848 E-mail : vplaza@hyogo-wel.or.jp  
 平日・土曜日 9:00～21:00 日曜日・祝日 9:00～17:00  
 (ゴールデンウィーク・お盆・年末年始は休館)

# しごと おしごとをお探しのかた

シニアしごと俱楽部

探す

## シニアしごと俱楽部

「シニアしごと俱楽部」は神戸クリスタルタワーの12階、「ひょうご・しごと情報広場」内にあります。「若者しごと俱楽部」と並ぶ「就職・能開支援部」の一角に位置しています。

兵庫県から委託を受けた(財)兵庫県雇用開発協会が50歳以上、団塊世代の企業退職者等の各々の実情に応じて、これまでの職業生活で培ってきた能力や経験を中小企業で活かすための再就職等を総合的に支援しています。

### 1 職業相談・情報提供

求職者に対し、再就職プランの相談に応じています。  
また、再就職のための職業相談や情報の提供も行っています。

### 2 求職登録者と中小企業等とのマッチング

50歳以上の企業退職者等で、経験や技術を活かすために中小企業等への再就職を希望する方の求職登録を行っています。この求職登録者と企業退職者等が職業生活で培ってきた様々な技術・技能を活用したい中小企業等とのマッチングを行っています。

#### お問い合わせ

ひょうご・しごと情報広場 シニアしごと俱楽部  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1-3 神戸クリスタルタワー12階  
TEL: 078-360-6216 URL: <http://www.j-hiroba.jp/emds/sjc.html>

## ボランティア

## ボランティアなら社協へ!!

## 社会福祉協議会

一般に「社協」という呼称で親しまれている「社会福祉協議会」。神戸市内では各区役所内に設置されています。社会福祉協議会は、公私の社会福祉関係者が参画し、協力しあいながら、地域住民の福祉の向上をはかるために、社会福祉法に基づいて設置された民間福祉団体として位置づけられています。

「社協」の事業の中にボランティアに関する相談、登録、紹介業務があります。これはボランティア活動を希望する人に活動先を紹介したり、ボランティアを必要としている人や施設にボランティアを紹介するといったマッチングを行っています。それぞれの区内のボランティア団体情報が集約されており、ボランティアに関しては、なんでも気軽に相談することができます。

ファミリーフィッシングの楽しさをみんなで

楽しむ

セミの鳴き声もまばらで、夏独特の強い日差しにも慣れきれない初夏。海水浴客で賑わいだした須磨の浜辺を横目に「いきがい.cc」の第2回オフ会。「ファミリーフィッシング」を開催しました。

今日のねらいは「アジ、キス、ベラ、コチなどの小物です」とファミリーフィッシングならではの気軽なしきけ。おののおの防波堤から海へ糸を垂らします。一方、その横では、獲れたての食材を調理するための炭火を起こしながら、ビール片手に盛り上がる面々も。「やっぱりそれが目的!?」そんな声が聞こえてきます。

須磨は歴史的にも由緒ある景勝地。離宮道から見渡せる海は今も変わらず美しく、見る人の心を和ませます。そんな須磨の海で「だれでも気軽にできるファミリーフィッシング」をテーマに開催された今回のオフ会。ご家族で参加も含めて参加者は14名。賑わいあるオフ会でした。

参加者も釣り初心者ばかり。今回の呼びかけ人でコーディネートを担当するMASAさんが丁寧に教えてまわります。



「おー！」

歓声と共に1匹2匹と釣りあがります。釣りあがった魚はそのまま焼いてビールのつまみ。型のいいものはさばいて刺身に。釣った魚をその場で味わう贅沢な時間。

「うちのボートがあるけど乗るかい？」

そんなMASAさんの提案に食いつかないわけがない「いきがい.cc」の面々はさっそくボートに乗り込みました。その後、離岸へ渡り、釣りを楽しんだりお昼寝したりと自由で楽しいひと時を過ごしました。

これからも「いきがい.cc」ではオフ会を開催していきます。こんなオフ会がしたいという提案も大歓迎です。どなたでも事務局にご一報下さい。オフ開催をお手伝いいたします!!

あなたも「いきがい.cc」で仲間をみつけませんか？趣味の仲間も仕事もみつかる「いきがい.cc」をいますぐチェックして下さい!!  
→次のページへ！

「いきがい.cc」で検索してください!!  
いきがい.cc  <http://www.ikigai.cc>

コミュニティで広がる交流の輪

## 「仲間がほしい」と思つたら…

定年退職後はこれまでの同僚ともすぐに顔を合わせることができません。コミュニケーションをとる相手が非常に限 定されてしまうとお感じになりませんか？新たな仲間作りのきっかけにおすすめがシニア向け SNS、「いきがい.cc」です。

「いきがい.cc」は兵庫県のシニア世代を中心とした地域限定 SNS です。「いきがい.cc」の中には「コミュニティ」というコーナーがあります。このコミュニティはテーマごとに構成され、関心のあるテーマに誰でも参加できます。意見交換、情報交換が楽しみになること、請け合いです。

コミュニティの一覧ページ。たくさん のコミュニティが存在します。

このコミュニティでは、パソコンの中だけの付き合いではなく、実際に会って交流をする、「オフ会」ということにも繋がります。前頁の「釣りオフ会」なども、その一つです。

すでにインターネットで交流を深めているので、ほとんどの方が口をそろえて「はじめて会ったとは思えない」と言われます。



「釣りオフ会」の情報交換の掲示板。一つの書き込みにどんどん意見が出されていきます。

「いきがい.cc」では、コミュニティの立ち上げも自由自在です。「こんなテーマで話したい」「仲間が欲しい」ということがあれば、募集も自由に行えます。

事務局では、「いきがい.cc」の使い方のご質問も受け付けていますので、安心してご利用いただけます。「パソコンは苦手だから…」という前に是非ともチャレンジしてみて下さい！

「いきがい.cc」に参加しよう!!

[next@ikigai.cc](mailto:next@ikigai.cc)

今すぐメール下さい!!

いきがい.cc へ参加をご希望の方は事務局まで「参加希望」とお書きになってメールを下さい！事務局からご招待いたします !!

楽しむ

# セミナー開催決定 !! 11|10 (Sat) 「おかれり、お父さん」

## セミナー「おかれり、お父さん」

日 時：11月10日(土) 13:00 ~ 16:30

会 場：私学会館 3F 302号・303号

神戸市中央区北長狭通4丁目3-13  
(JR元町駅東口から徒歩3分)

対象者：テーマに興味のある方(女性も大歓迎です)

参加費：500円

定 員：先着30名

### 第1部

#### 「セカンドライフを楽しむ方法」

講 師：栗木剛 (MOTTOひょうご)

時 間：13:00 ~ 14:20

### 第2部

#### 「しごと・趣味、きっと見つかる」

時 間：14:30 ~ 15:30

趣味やボランティア団体によるプレゼン

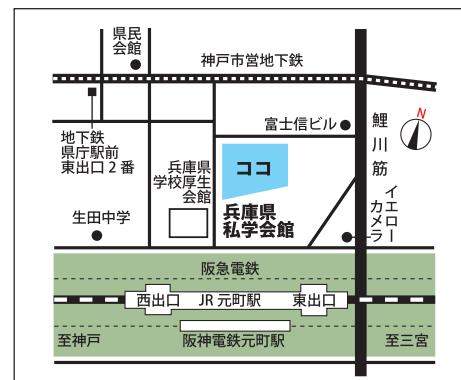
### 第3部

#### 「交流会・マッチング会」

時 間：15:30 ~ 16:30

参加者と団体とのマッチングと交流会

## 会場案内



## お申込み・お問い合わせ

お申込みは、お電話、FAX、メールでも受け付けております。

お気軽にお問い合わせ下さい。

生きがいしごとサポートセンター神戸西

TEL : 078-731-2251

FAX : 078-735-0164

E-mail : next@ikigai.cc

## (2007年) 12月～(2008年) 1月 講座一覧

### 12

#### 法人運営の基礎知識講座 税務の基礎

日 時：12月1日(土) 13:30 ~ 16:50

場 所：生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT

受講料：1,500円(500円×3コマ)

#### NPO 法人設立講座 「特定非営利活動法人があるごとわかる !!」

日 時：12月8日(土) 13:30 ~ 17:20

場 所：生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT

受講料：2,000円(500円×4コマ)

#### 就職活動支援セミナー 「内定を勝ち取る方法」

日 時：12月15日(土) 13:30 ~ 16:50

場 所：生きがいしごとサポートセンター神戸西 NEXT

受講料：1,500円(500円×3コマ)

#### 順次 開催

・兵庫 CB ツアー ・ライフプランセミナー ・ブログ講座

※スケジュールは変更する場合もありますので、お問い合わせ下さい。

生きがいしごとサポート  
センター神戸西 NEXT



- NPO 法人設立相談・運営相談
- 無料職業紹介
- ボランティアマッチング
- 各種講座開催

#### 開所時間

火曜日～土曜日(10時～18時)

日・月・祝日はお休みです。

お電話・来所、大歓迎です！お気軽にご相談下さい !!

#### センター案内図

山陽須磨寺駅から徒歩1分  
JR須磨駅から徒歩10分

